



2026年1月21日

各 位

会 社 名 株式会社ジー・スリー・ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 山元 秀樹  
(コード番号: 3647 東証スタンダード市場)  
問合せ先 常務取締役経営管理本部長 高橋 龍馬  
(電話: 03-5781-2522)

### 系統用蓄電池事業部門の新設に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会におきまして、系統用蓄電池事業の本格展開を視野に、新たに「系統用蓄電池事業部門」を新設することを決議いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 事業部門新設の背景及び目的

当社グループは、再生可能エネルギー分野を成長戦略の重要領域と位置付け、これまで太陽光発電事業を中心に、発電所の開発・運営・O&M等を通じた実績とノウハウを蓄積してまいりました。こうした取り組みを踏まえ、当社は 2025年10月6日付け「系統用蓄電所事業用地、設備及び電力接続権の取得並びに系統用蓄電事業の開始に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、系統用蓄電所の事業用地・設備・電力接続権の取得を行い、系統用蓄電事業へ正式に参入しております。本事業は、再生可能エネルギー導入拡大に伴い、顕在化する出力変動や需給調整の課題に対応し、電力系統の安定化を担う重要なインフラ事業として、高い成長性と社会的意義を有するものであり、当社の実績と知見を十分に生かすことが可能な事業であると考えております。

さらに、2025年12月には、和歌山県有田郡湯浅町と災害時における電力供給体制の強化及び地域防災力の向上を目的として、湯浅町内に設置を計画する系統用蓄電所の活用について協議を開始し、災害時の電力供給体制強化を目的とした非常用ポータブル電源の寄贈を完了するなど、自治体と連携を進めております。

こうした一連の取り組みを通じ、当社内において系統用蓄電池事業は、中長期的な成長を担う中核事業として位置付ける段階に至ったことから、専担組織を新設し、事業推進体制を明確化・強化することが必要であると判断いたしました。

##### 2. 新設部門の概要

###### (1) 部門名称

系統用蓄電池事業部 (※ 順次人員を配置し、最大 11 名体制を想定しております。)

###### (2) 主な役割

本事業部は、以下の機能を中核的な役割とし、系統用蓄電池事業に関する企画から運用までを一貫して担う専門組織として、事業を統括します。

- ・系統用蓄電池事業に関する事業企画及び戦略立案
- ・案件の発掘、事業性評価、投資判断に向けた検討
- ・用地選定、系統接続、許認可対応等の事業開発業務
- ・蓄電池システム (BESS) の基本設計及びシステムインテグレーション統括
- ・EPC事業者、機器メーカー、運用事業者等との折衝及び契約管理
- ・運用開始後のモニタリング、収益管理、改善施策の立案

### 3. 競争優位性及び事業の位置づけ

本事業は、制度理解や資金力に加え、実務人材の確保および現場対応力が競争力を左右するため、当社が持つ再生可能エネルギー分野の実績と知見を生かし、単なる後発参入ではなく、実行力を伴う事業者として以下の体制を実現します。

- (1) 事業推進に必要な人材の確保
- (2) システムインテグレーションに関する技術者の内製化
- (3) 再生可能エネルギー事業を通じ構築したネットワーク

系統用蓄電池事業は、当社の事業ドメインに合致することはもちろんのこと、①ストック型・インフラ型ビジネスへの展開、②中長期的に安定した収益基盤の構築、③E S G・脱炭素社会の実現への貢献など、当社グループが抱える経営課題の解決と中長期的な成長戦略に合致するものと考えております。

### 4. 今後の見通し

本件による当期業績への影響については、現時点で軽微と見込んでおりますが、今後、開示すべき事項が生じた場合、速やかにお知らせいたします。

以上